**（申請様式1）**

記入要領、記入例は削除して提出ください

A4・20枚以内（厳守）にポイントをおさえ、査読者が読みやすいように作成。適宜、図や表を活用すること。フォントサイズは10.5以上とすること。なお、審査の過程において資料の追加提出等を求めることがある。

**次世代研究者挑戦的研究プログラム 申請書**

　　年　　月　　日提出

**1．基本情報**

**（１）博士後期課程学生支援プロジェクトの題目**

※実施する博士後期課程学生支援プロジェクトの題目を記載してください。

※事業統括及びその所属大学について記載します。なお、共同申請の場合には、各大学に事業統括を１名ずつ置いた上で、主幹大学の責任者を主幹事業統括とします。

**（２）大学**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名 | ○○大学 | |
| 事業統括  ※共同申請の場合には、主幹大学及び主幹事業統括に関する情報をここに記載してください。 | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 住所 |  |
| 電話番号 | ※所属先の所在地 |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |
| 研究倫理受講確認書番号 |  |

**（３）大学（共同申請）**

※共同申請する大学がない場合は、削除してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名 | ○○大学 | |
| 事業統括 | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 住所 | ※所属先の所在地 |
| 電話番号 |  |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 研究倫理教育に関するプログラムの受講確認書に記載されている受講確認書番号（数字7桁+ARD）を記載してください。 |
| 研究倫理受講確認書番号 |  |

※共同申請する大学が複数ある場合は、必要に応じて表を追加してください。

**2．概要**

**(1)計画期間**

令和３年○月～○年○月

**(2)概要**

**(2-1)博士後期課程学生支援プロジェクトの目的及び内容**

・博士後期課程学生支援プロジェクトの規模：年度あたり○人、合計○人

本事業で支援予定の博士後期課程学生規模の概略を記載してください。

・○○○○・・・・

※400字以内で記載してください。

・事業統括の構想に基づく博士後期課程学生支援プロジェクトの目的及び内容の概要を記載してください。

・共同申請等を行う場合には、どのように連携するのかについても記載してください。

・学生の選抜方法、選抜方法支援体制等についても記載してください。

**(2-2)キャリア開発・育成コンテンツ**

・○○○○・・・・

※400字以内で記載してください。

　・博士後期課程学生が多様なキャリアパスにおいて活躍できる人材として求められるコンピテンシーを育成するためのキャリア開発・育成コンテンツに関する構想を記載してください。

・該当があれば、他事業で得られた成果やノウハウをどのように活用し、更に発展させていくかについても記載してください。

**(2-3)事業統括**

・○○○○・・・・

※400字以内で記載してください。

・事業統括として自身がふさわしい理由等を記載してください（自己PR）。

・特に、本事業の趣旨を踏まえ、既存の大学組織・分野の枠組みを越えて優秀な博士後期課程学生の選抜を行い、挑戦的・融合的な研究を推進する知見と実行力を備えているかについて記載してください。

・実行力という点において、過去に類似のプログラム（例：リーディング大学院、卓越大学院、グローバルCOEプログラム等）を率いた経験があれば、当該経験とその際の評価等、また、挑戦的・融合的な研究課題に関する知見として、博士後期課程学生が参画する学際的・領域・組織横断的研究プログラムにおいて、学生の研究指導を行った経験があれば、その実績と評価について記載してください。

・国際的素養として、国際競争力のある卓越した海外機関との連携・交流実績等があれば記載してください。

**3．体制**

**(1) 推進体制**

**(1-1)大学等**

**大学：●●大学**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 部署　役職 | 役割分担 |
| ○○　○○ | ○○学部  学部長 | 事業統括 |
| ○○　○○ | 産学連携本部　教授 | 事業統括支援 |
| □□　□□ | キャリア支援室　係長 | 全体調整 |
|  |  |  |
|  |  |  |

共同申請する大学がなければ、記載は不要です。共同申請する大学が複数ある場合は、必要に応じて表を追加してください。

**大学（共同申請）：●●大学**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 部署　役職 | 役割分担 |
| ○○　○○ | ○○研究科  研究科長 | 事業統括 |
| ○○　○○ | 産学連携本部　教授 | 事業統括支援 |
| □□　□□ | キャリア支援室　係長 | 全体調整 |
|  |  |  |
|  |  |  |

**(1-2)外部協力機関**

外部協力機関がなければ、記載は不要です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名 | 氏名（役職） | 役割分担 |
| ○○社 | ○○　○○（○○） | 研修講師 |
| 大学が外注等を行い、博士後期課程学生支援プロジェクトの協力を求める機関 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**(1-3)連携体制**

・博士後期課程学生支援プロジェクトにおける連携体制（機関連携含む）、活用する既存のプログラム等について、図等を用いて記載してください。

**４.　博士後期課程学生支援プロジェクトの目的及び内容**

**（１）目的及び内容**

・事業統括の構想に基づく博士後期課程学生支援プロジェクトの目的および内容を記載してください。

・博士人材育成のビジョンについても含めてください。具体的には、我が国が将来重点的に対応すべき課題の解決に向けた戦略の実現に向け、若手研究者としての博士後期課程学生の育成像、修士段階を含めた大学院教育改革の推進等に関して有しているビジョンを記載してください。

・博士後期課程学生支援プロジェクトの内容について、どのような分野の博士人材育成を強化していくのかに関する所属大学の理念や方針との一貫性、その特長や独自性、組織としての戦略性等が反映されていることが分かるよう記載してください。

・博士後期課程学生が挑戦的・融合的な研究に専念できる環境をどのように確保するのかについて、URAや技術職員の配置等のバックアップの工夫や取組含め記載してください。

・博士後期課程学生支援プロジェクトを通じて実施する環境整備やキャリアパス支援の内容や構想が、将来的に我が国における科学技術の発展やイノベーション創出へどのように還元されるかについても記載してください。

・共同申請等を行う場合には、どのように連携するのかについても記載してください。

**（２）キャリア開発・育成コンテンツ**

・博士後期課程学生が将来、多様なキャリアパスで活躍するために、どのようなコンピテンシーの育成を目指し、それに向けてどのようなキャリア開発・育成コンテンツを実施するのか、その安定的・継続的実現可能性もあわせて記載してください。

・海外大学への派遣機会の提供（派遣先、派遣期間、派遣規模等）、産学連携によるインターンシップ機会の提供（インターンシップの内容、期間、待遇条件等）、トラスファラブルスキルの習得に関する各種支援、学内外の若手向けポストの確保・整備等を予定している場合は、明記してください。

・その他、メンター群からのサポートや授業料減免等、独自の博士後期課程学生支援に関する取組があれば記載してください。

**5.　博士後期課程学生の選抜**

※共同申請する大学においても学生を選抜する場合は、個々の大学の方法についても記載してください。また、どのように連携して進めるかについても明確に記載してください。事業統括は共同申請する大学における学生選抜においても主体的役割を果たすようにしてください。

**(1)募集方法**

・広報含め、どのように優秀で将来性のある博士後期課程学生を募集するのか、方法を記載してください。

・共同申請を行う場合、各大学が果たす役割や、どのように複数機関が連携して募集を行うのか等についても、記載してください。

**（２）応募要件**

・応募要件を設ける場合には、記載してください。

**(３)選抜方法・選考の観点（方針）**

・既存の枠組みや学問分野にとらわれることなく、どのように優秀で将来性があり、かつ挑戦的・融合的な研究を生み出す博士後期課程学生を横断的に選抜するのか、その方法・観点（方針）等について記載してください。

・事後的なフォローアップを踏まえた点検・見直し、可能な場合は最終的な学内の博士号審査システムへのフィードバックの在り方なども含めてください。既存組織に定員を割り振る等は不可とします。

**(４)選抜体制**

・選抜体制については、学外の有識者の参画も得た上で、大学の研究科や専攻など既存の枠組みや学問分野にとらわれることなく、独立した透明な選抜を確保する体制であることを明記してください。

**(５)選抜計画（人数規模）**

・各年度における博士後期課程学生の採用計画（春入学・秋入学の区分を含む）を記載してください。

・人数規模については、博士後期課程学生支援プロジェクトの内容や在籍者数、博士後期課程学生の属性等に照らし、真に優秀な学生の選抜を行った上で、安定・継続して研究環境の確保や必要な支援の提供を実施できる適切な人数規模であることが分かるようにしてください。

**（６）事業統括配分経費の配分方法**

・事業統括配分経費（70万円ｘ学生数）（事業統括の独立したイニシアティブによる配分経費）の配分方法を記載してください。

**6．実施内容**

※共同申請の場合は、共同申請の内容として記載してください。また、共同申請を行わない大学間でのキャリア開発・育成コンテンツの共同実施を検討している場合は、その連携内容についても記載してください。

**(１)年間スケジュール**

**・1年度目**

各年度における博士後期課程学生支援プロジェクトのスケジュールを分かりやすく記載してください。

※博士後期課程学生支援プロジェクトの計画期間は最大5年度（4年制の場合は最大6年度）とします。

※1年目は機関の応募、選考等がありますので、博士後期課程学生支援プロジェクト、キャリア開発・育成コンテンツともに実施期間は短縮されます。

※4年制の場合は、6年度目まで記載してください。

**・2年度目**

**・3年度目**

**・4年度目**

**・5年度目**

**(２)既存の取組みとの連携・活用**

・博士後期課程学生支援に関するこれまでの取組や実績があれば記載してください。また、他事業において得られた成果やノウハウ等を移植・活用する場合には、本事業でどのように更に発展させるのかについて記載してください。

**(３)運営チーム体制**

・事業統括のもとで、博士後期課程学生支援プロジェクトを効果的に実施するための運営チームの体制を記載してください。

・サポート役となる教員、スタッフの人数、個々人のキャリア、類似プログラムの経験等を含めてください。

・運営チームは、URAや技術職員等の専門職を含めた他の教員、産業界からの外部有識者等を想定しています。

**7．事業統括経歴**

※事業統括１人につき、Ａ４・１枚以内で記載してください。

■氏名:○○　○○　（フリガナ）

・所属(大学・研究科･専攻等)・職名：

・現在の業務内容：

・役割分担：

※「主幹事業統括」又は「事業統括」のどちらかを記載してください。

※海外機関での勤務経験がある場合には、必ず記載してください。

・学歴・職歴・学会・（地域）社会活動等：

・人材育成、産学連携、キャリアパス支援の実績・有する産学官ネットワーク等

※多様なキャリアパスの形成に向けた支援の提供に際して活用できるような、国内外の産業界を含めた外部の組織・機関等とのネットワークについて記載してください。

・国際共同研究の実績